



平成 29 年 2 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社ジーンテクノサイエンス  
代 表 者 名 代表取締役社長 河 南 雅 成  
(コード番号：4584 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 谷 匡 治  
(TEL. 03-3517-1353)

## 学校法人順天堂との共同研究開発契約の締結に関するお知らせ

当社は、会社法第 370 条及び当社定款 26 条の規定に基づく取締役会決議に代わる書面決議により、学校法人順天堂（以下、「順天堂」といいます。）と、順天堂が進めてきた免疫寛容誘導に関する研究（以下、「本研究」といいます。）について共同研究開発契約（以下、「本契約」といいます。）を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 本契約締結の目的

当社は平成 24 年 11 月、日本のバイオシミラーガイドラインに則り製造販売承認を取得した最初のバイオシミラーであるフィルグラスチムバイオシミラー原薬を開発し、製造している実績があります。その後も複数のバイオシミラー品目の開発を進めており、バイオ医薬品の開発ノウハウを着実に蓄積しています。また、本事業年度第 1 四半期には、ノーリツ鋼機株式会社の孫会社であるノーリツ鋼機バイオホールディングス合同会社（旧社名：合同会社 Launchpad12）による第三者割当増資及び同社による当社普通株式の公開買付けにより、当社はノーリツ鋼機グループの一員となりました。これに伴い、社会的信用力を得るとともに、研究開発資金を獲得することで、再生医療事業を始めとする新たな事業への参入を検討してまいりました。

順天堂大学大学院医学研究科アトピー疾患研究センターは、アレルギー疾患の研究をはじめ、免疫系、細胞内シグナル伝達系、転写の制御、細胞間接着のメカニズムに及ぶ基礎研究を進めており、これまでに、本分野における様々な研究成果を挙げています。

この度、当社は順天堂が進めている研究テーマの一つである免疫寛容<sup>(注)</sup>誘導について本契約を締結する運びとなりました。本研究に必要となる抗体の開発を含め、免疫寛容を活用した新たな免疫抑制治療法の実用化を目指し、共同研究を進めてまいります。この治療法の基盤となる成果は、自己免疫疾患、移植、花粉症、食物アレルギーなど免疫系に関わる多くの疾患・症状の治療・治癒に貢献できるものと期待しています。

(注) 免疫寛容とは、免疫機能を司る自らの細胞等が体外の抗原に対して、そのものを異物と認識せずに免疫反応が起こらない状態であることを指します。

2. 本契約の内容

- (1) 本研究を活用した新たな免疫抑制治療法の研究開発
- (2) 本研究に必要な抗体の開発、供給

3. 日程

- (1) 取締役会決議日 平成 29 年 2 月 27 日
- (2) 契約締結日 平成 29 年 2 月 27 日
- (3) 本研究の期間 平成 29 年 3 月 1 日から平成 32 年 2 月 29 日

4. 本契約の相手先の概要

(1) 名称	学校法人順天堂
(2) 所在地	東京都文京区本郷 2 丁目 1 番 1 号
(3) 理事長	小川 秀興
(4) 対象研究室	順天堂大学大学院医学研究科アトピー疾患研究センター

5. 今後の見通し

本契約により、業績予想の修正が必要と判断された場合には速やかにお知らせする予定であります。

以 上